

被災者の心結ぶ場に

宮古

体験広場きょう開所

ウニ染め 裂き織り 工房や製作教室も



宮古市の陸中宮古ライオンズクラブ(須賀原子エ子会長)が整備したみやこ体験広場は17日、同市実田1丁目の民有地に開所する。裂き織り・ウニ染め製品のショールームや体験工房、無料の交流スペースを設置。仮設住宅から自力再建・災害公営住宅への転居を見据え、被災者の交流や自立の場として浸透を目指す。

広場の整備は、ライオンズの支援金計1050万円を活用。ユニツや浜田亀山ライオンズクラブ(島根県浜田)の運営スタッフら被災者の交流の場として多くの来訪を期待する「みやこ体験広場」の運営スタッフら



飲食店街再建に店主の声

岩手日報

発行所
株式会社 岩手日報社
盛岡市内丸3番7号
郵便番号 020-8622
電話番号 019(653)4111
代表 019(653)4111
振替口座 02360-6-20番
©岩手日報社 2015

～つつがない毎日のご提案～

やちだもの家

盛岡市加賀野
青い空館
北上市立花

総合ビルメンテナンス業・介護福祉事業
第一商事株式会社
盛岡市上ノ橋町8番8号
TEL 019-651-3241

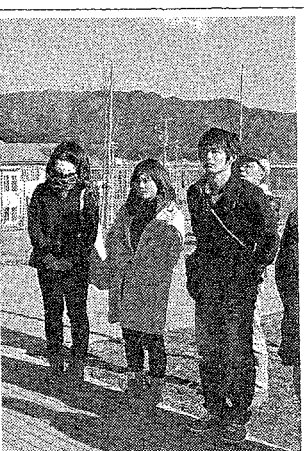
17日の天気

二戸	宮古	大船渡
1-5 80/60/50	2-5 60/50	6-4 70/30/20
5-3 60/50		6-3 70/20/20

率は午前/午後/夜(%)
クはのち、*一時、時々
風は最高、最低(℃)

週間天気

日	宮古	大船渡
18	40%	10%
19	4-4	3-3
20	80%	60%
21	6-3	5-2
22	30%	20%



の様子について、大学の学生が取材した。津波の伝承活動に取り組む同町の有志団体「山田伝津館」代表、田村剛一さん(76)が、イド役を務めた。学は同団体の事務所、波の映像を見た後、

トハウス4棟を置き、広場を運営する一般社団法人WA(岩間和子代表理事)も立ち上げた。被災者が和装品のリメイクや着物を利用して「裂き織り」の工房に加え、ウニ殻から抽出した色素を使う「うに染」を手掛ける田川宮子さん(75)も同市宮園の工房も設置。ショールームで製品を見て、実際に製作にも挑戦できる。田川さんは「市内で製品を紹介できる場は少なかった。体験教室を通して皆さんと交流したい」と意欲を示し、「輝きの和」にも携わる岩間代表理事(61)は「工房利用者の裂き織りは少しずつ売れ始め、利用者を増やしたい」と決意する。

17日は午前10時半から開所式典を行う。着物のリメイクやちりめんの細工の講座も定期的に実施する。火曜、日曜、祝日定休。営業は午前10時～午後4時。問い合わせは同広場(0193-77-3967)へ。

贈呈式は陸前高田市内のホテルで行われ、約30人が出席。国際ソロプチミスト大船渡賞を4団体1人に贈り、東日本大震災後、支援を受ける国際ソロ

認定20周年記念し5団体1人を表彰
大船渡の女性団体
国際ソロプチミスト大船渡(甘竹恵子会長、会員22人)は16日、認定20周年記念事業として、気仙地区で地域密着型の奉仕活動や青少年育成に貢献する5団体1人を表彰した。